



地域づくり

お役立ち

コラム



一年交代の自治会長

瀬谷区では153の自治会町内会のうち、毎年約4割の自治会町内会長が交代します。そのうち、一年で交代する自治会町内会長さんは地域の活動経験がほとんどないまま持ち回りや抽選により就任する方も多く、さらには、前の会長さんからの引継ぎが十分でないことも多いようで、自治会の役員になることで「大変な目」にあってしまったという声も耳にします。

また、多くの連合町内会の年度最後の会議では、退任する自治会町内会長さんのあいさつがあり、「就任したときは活動の右も左もわかりませんでした、最近だいぶ分かるようになりました。しかし残念ですが、これでお別れになります。」と、どの地区でも同じ言葉が聞かれます。そしてその言葉が毎年繰り返されます。

ここから次のようなことが考えられるのではないのでしょうか？

一つは、退任した会長をはじめとする役員が次の役員に引継ぎとフォローをしっかりと行う。書類の説明だけでなく、地域の人たちへの顔つなぎ、行事や会議の勤所を同席しながらフォローすると次の役員の方々はどれだけ助かるでしょう。さらにそれを発展させ、役員経験者のグループや役員をサポートする緩やかなネットワークを作り、フォローする体制をつくるのも良いでしょう。ある自治会では「うちは毎年役員が交代する。それでも大丈夫。なぜなら、ほとんどみんな役員の経験者なので、その経験を活かして新しく引っ越してきた役員もフォローできるんだ。」という話もお聞きしました。

二つ目は、役員の任期を複数年にすることです。1年目は大変でも2年目は慣れてくることによって負担が軽減し、新たな取組への機運を高めることが出来ます。上述とは別の、ある自治会では、会長や役員が話し合い、複数年役員として活動する中で、自治会の運営方法を見直し、誰が会長や役員になっても運営できる体制づくりに取り組んでいます。

企業でも課題があればそれを改善するための工夫を行っています。暮らしやすい自分たちのまちにしていくためにも会長さんや役員さんの役割や動き方について話し合ってみてはいかがでしょうか。区役所ではこのような課題解決のため、相談や専門家の派遣も行っていきますので、お気軽にお声かけください。

編集後記

上記のコラムを書いた私は、学童保育の運営委員長を3年間務めました。1年で辞めるつもりが結局3年間続けましたが、大変なのは最初の1年で、それを過ぎるといろいろなものが見え、地域の人とのネットワークも構築され、最後には楽しく活動ができました。運営の改善として、「役員を辞めても半年は役員の意識を持ち、新しい役員のフォローをする」という体制を作り、役員の負担軽減を図る工夫ができたのも複数年役員をした経験があったからこそと思います。

【お問い合わせ先】

瀬谷区役所 地域振興課
地域力推進担当
TEL 045(367)5789
FAX 045(367)4423
〒246-0021
横浜市瀬谷区二ツ橋町190番地
発行/平成28年5月

瀬谷第四地区版

本号は地区別版でお届けします！

地域づくり

通信 第28号 平成28年5月

今回は、自治会町内会活動をサポートする「地区支援チーム」についてご紹介します！

ちょっと待って。
私はこの4月に初めて自治会長になったんだ。
そもそも、自治会や町内会って何なのか、教えてほしいな。



せやまるのお父さんとお母さん

自治会町内会とは？

自治会町内会は、地域の防犯、防災や、資源回収など日々の生活に根ざした基本的な活動のほか、運動会や夏祭り・敬老会などを開催し地域のつながりを強めるための行事、地域の課題解決のための話し合いや合意形成を行うことなどを主な役割としています。

現在、瀬谷区内には153の自治会町内会が存在し、その状況は実に様々です。まず自治会町内会によって約20~1,200世帯と加入世帯数に大きな違いがあるだけでなく、例えば会長が1年ごとに交代するところもあれば、10年、20年と同じ会長が活躍されているところもあります。

地域の活動はひとつの自治会町内会では取り組みづらいものもありますが、複数の自治会町内会が集まり、連合町内会をつくることで地区の運動会などの大規模なイベントや広範囲の地域課題の解決を図っています。瀬谷区には12の連合町内会があり、この会合の場には、区役所職員などが「地区支援チーム」として出席し、自治会町内会長や地域の役員の方のご質問やご相談にお応えしています。

今号では、その「地区支援チーム」について、皆様に広く知っていただけるよう、その構成や役割などをご紹介します。

「○○自治会」「□□町内会」「△△会」と様々な会の名称があるけど、名前によって活動内容が違うということはないよ！



瀬谷区承認第7号

地域の活動をサポートします！ 「地区支援チーム」のご紹介

とある町の自治会町内会長さんは、こんな悩みを抱えています・・・



4月から自治会長になったAさん

子どもたちの登下校の時に使う横断旗が古くなってきたな。どこに行けば新しいものがもらえるのだろう。

災害時に、高齢者を健康面に配慮しながらサポートするようなシステムを作りたいわ。役所に相談するとしたら、防災の窓口？それとも福祉の窓口？役所は「縦割り」だから、どこに相談すればいいかわからないのよね・・・。補助金が出るのかも知りたいわ。



町内会長5年目のBさん

みなさんの地区にも、こんなお悩み・課題がありませんか？

地域活動に利用するための、地域の高齢化状況など、公共性の高いデータを提供してほしい。

地域の地図を会議で配りたい。

「福祉と防災」など、複数の分野にまたがる地域の複雑な課題を、どこに相談してよいか分からない。

地域活動で利用できる補助金の制度について知りたい。

子育ての集まりを開催したいが、他の地区で参考になる活動事例があれば教えてほしい。

地域活動の担い手が少なく、一人の負担が大きすぎるので、協力者を増やすためのアイデアがほしい。

地区で良い取組があるので、ぜひ他の地区にも紹介したい。

そんな地域のみなさまの課題解決の
お手伝いをするのが「地区支援チーム」です！！

>> 地区支援チームとは？

みなさんが地域で活動するとき、困ったことや分からないことを気軽に区役所に相談できる仕組みがあれば、地域活動はさらに実りのあるものになります。

そこで、気軽にご相談いただけるサポート隊として設置されたのが「地区支援チーム」です。瀬谷区全体では12の地区ごとに地区支援チームを編成しています。

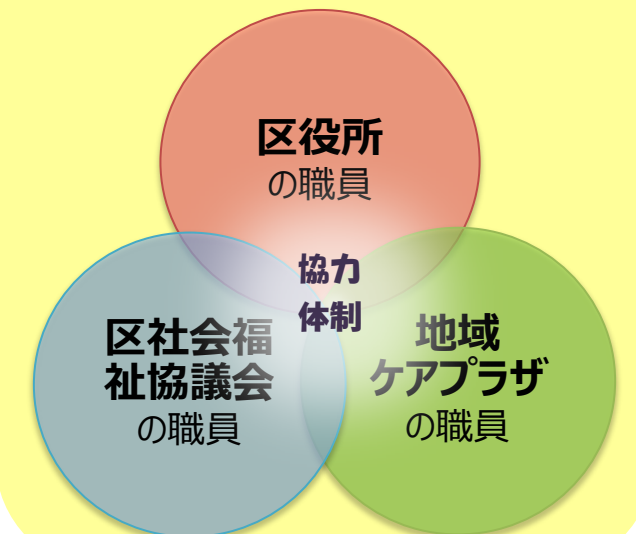
>> どんな人たち？

区役所の職員、区社会福祉協議会の職員、地域ケアプラザの職員で構成されています。チームメンバーは複数の職員で構成されているので、その場で様々なご質問にお答えすることが可能です。また、チームメンバーの担当部署以外の内容でも、後日確認した上でお答えします。

>> どんなことをやるの？

- ・地域と行政をつなぐ窓口となります。
- ・地域の課題を解決するための支援をします。

地区支援チームの構成



具体的にはこんなことをやっています！



地域の会議におじゃまして、地域の活動に役立つ情報を提供しています。



窓口やお電話で、お気軽にご相談いただいています。



地域の活動に参加したり、企画や運営をお手伝いしています。



ご要望に応じて、地域活動の専門家を派遣します。

瀬谷第四地区 リーダー・チーム員の紹介

チームリーダー

地域振興課長

いざわ あきら
伊澤 明



瀬谷第四地区の皆さん、こんにちは。今年度、地区を担当させていただきます地域振興課長の伊澤です。

連合自治会創立50周年を迎えられた記念すべき年に、地域のさまざまな活動に関わることができ大変うれしく思っています。きずなと施設・環境に恵まれたこの地域が、一層『元気で明るい楽しいまち』となるようチーム一丸となってお手伝いさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

住まいは平塚です。第四地区の皆さんの地域に対する思いを目の当たりにして、私も地元で少しでも近づければと思っています。

<区役所>
サブリーダー
井戸 司 (連合町内会担当、地域振興課)
梅田 直矢 (福祉保健担当、高齢・障害支援課)
石原 雅久 (地域防災拠点担当、区会計室)

<区社会福祉協議会>
佐橋 智子

<ニッ橋第二地域ケアプラザ>
村上 博、山根 千明